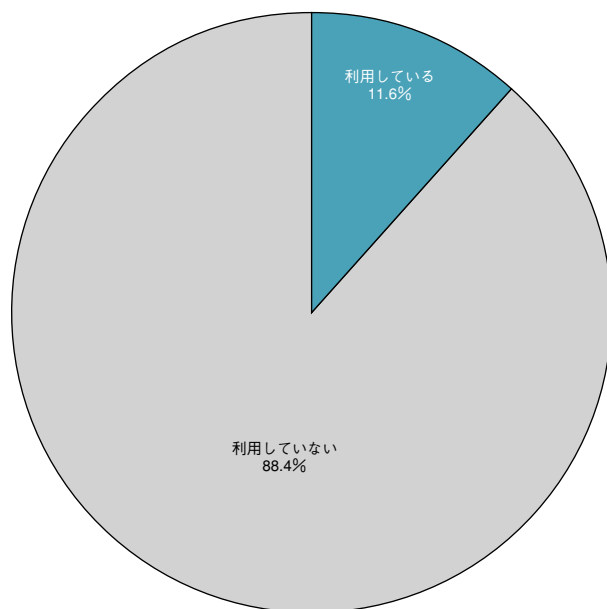


公衆無線LAN アクセスポイント

公衆無線LANの利用経験者はおよそ1割

資料2-3-9 モバイルインターネット利用者の公衆無線LANアクセスポイントの利用有無 N=868

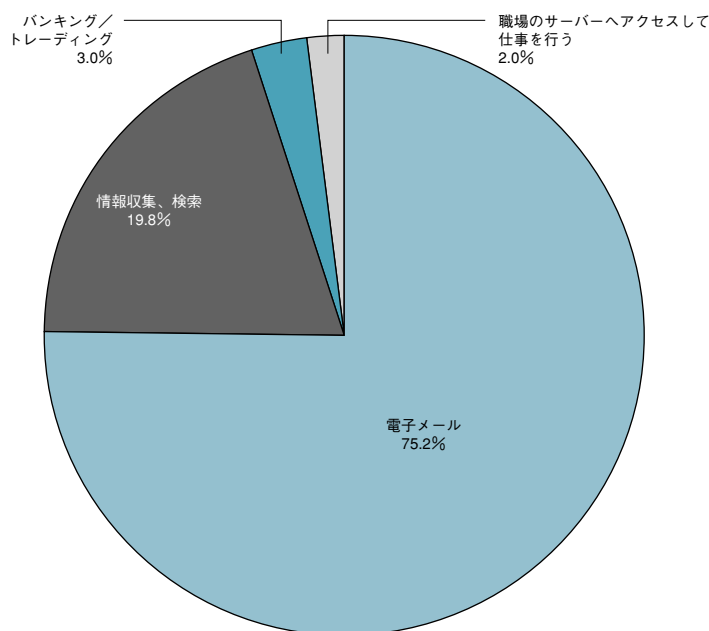


©Access Media/impress,2003

「主な回線」としてではないが、モバイルインターネットを活用している人のうち、公衆無線LANアクセスポイントを使っている人は11.6%。現時点では、プロバイダーやパソコンメーカー、ホテル、飲食店、駅などが試験的にアクセスポイントを提供している例が多い。

公衆無線LANの主な目的は「電子メール」

資料2-3-10 公衆無線LANアクセスポイントの主な用途 N=101



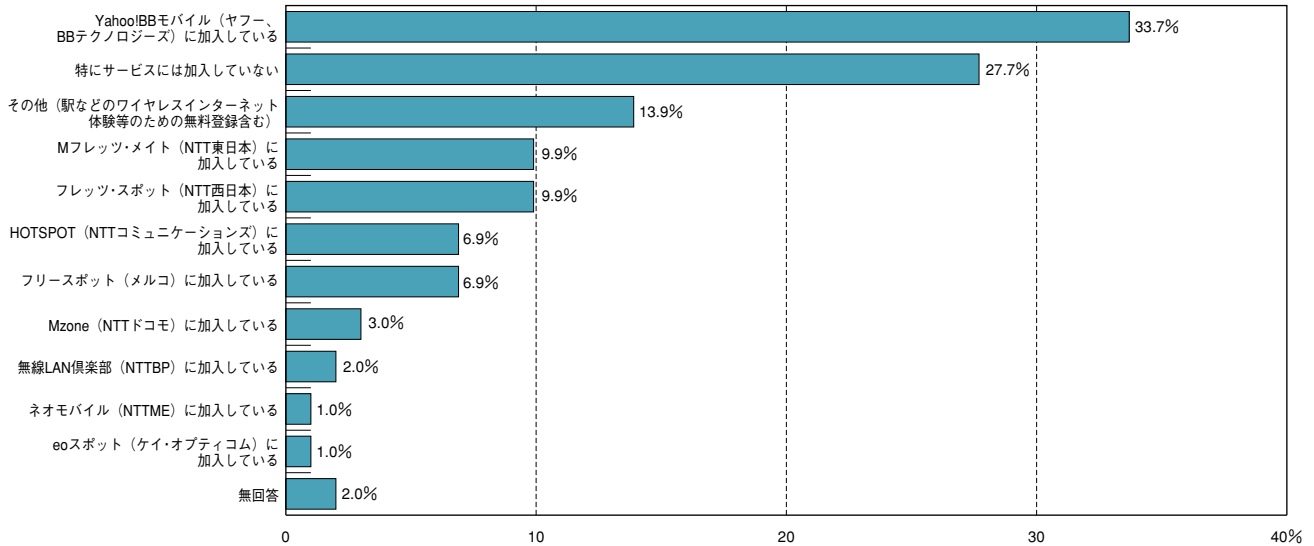
©Access Media/impress,2003

公衆無線LANアクセスポイントの利用目的は、「電子メール」が全体の4分の3を占めた。外出先でのメールチェックや情報収集に活用する人が大半だが、バンキング（銀行口座管理）やトレーディング（株取引など）に活用する人もいる。

公衆無線LAN アクセスポイント

加入しているサービスのトップはYahoo!BBモバイル

資料2-3-11 公衆無線LANアクセスポイントを使うために加入しているサービス N=101

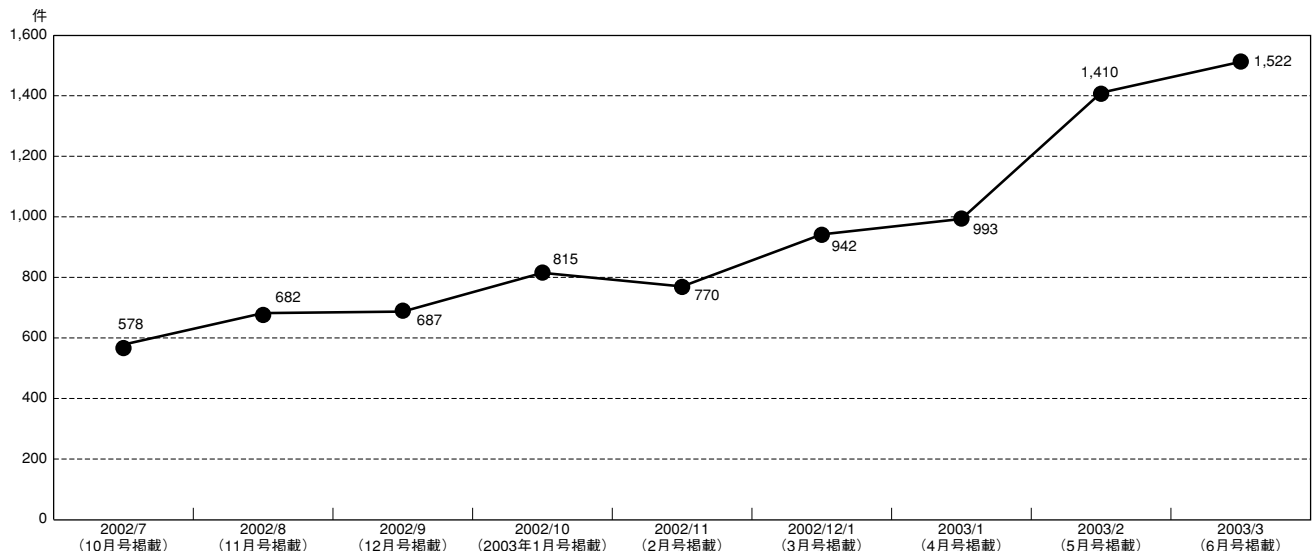


©Access Media/impress,2003

Yahoo!BBが公衆無線LANサービスでも首位。それに続くのは「サービスには加入していない」と、体験や無料登録を含む「その他」。ADSL加入パックとして無線LANカードがついてくるキャンペーンもある。

サービスポイントは短期間で1.5倍

参考資料2-3-A インターネットマガジンに掲載された公衆無線LANアクセスポイント (スポット) 数推移



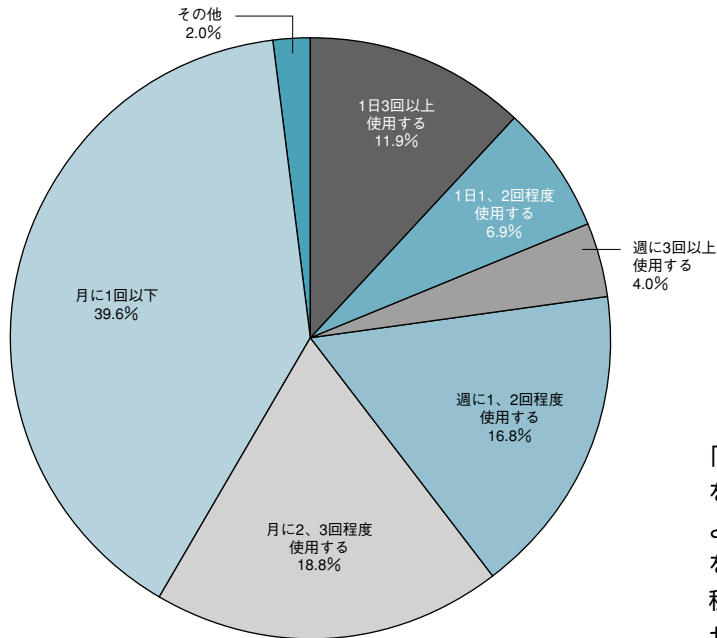
出所:インターネットマガジン付録「Wiナビ」に掲載された数 (集計は初旬)
2003年1月号までは「Genuie」(モバイルインターネットサービス) のエリア数を足している。

無線LAN関連機器の低価格化やノートパソコンへの標準搭載が進んだこともあって、2003年に入ってアクセスポイント数が前年の約1.5倍に増加している。規格策定の混乱期を過ぎれば市場が一気に急拡大することも考えられる。

**公衆無線LAN
アクセスポイント**

公衆無線LANアクセスポイントを毎日使う人は18.9%

資料2-3-12 公衆無線LANアクセスポイントの利用頻度 N=101

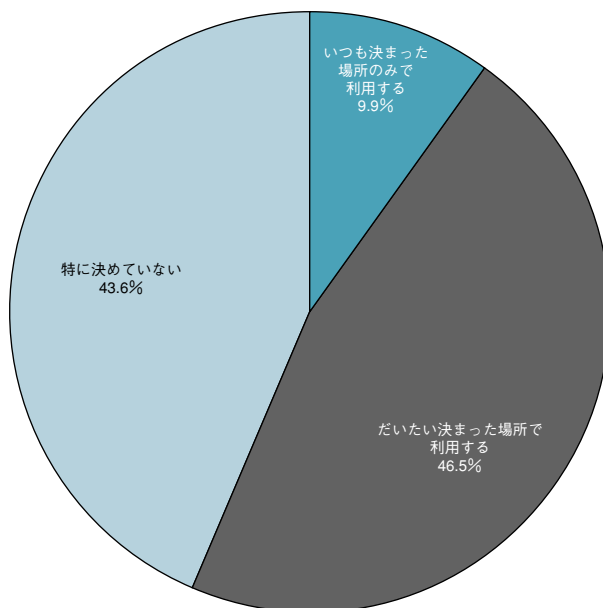


©Access Media/impress,2003

「1日に3回以上」と「1日に1、2回」を合わせると、2割近くの人が毎日のように公衆無線LANアクセスポイントを使っている。さらに「月に2、3回程度」までを含めると、約6割がアクセスポイントを日常的に活用していることになる。

「ほぼいつもの場所」で使う人が56.4%

資料2-3-13 公衆無線LANアクセスポイント利用場所の固定・不定状況 N=101



©Access Media/impress,2003

「いつでもどこでも接続できる」ことがメリットの公衆無線LANアクセスポイントとはいえ、実際には「いつも決まった場所」で使う人が約1割、「だいたい決まった場所」という人まで含めると過半数が「ほぼいつもの場所」で接続している。

日本の普及状況

個人の利用実態

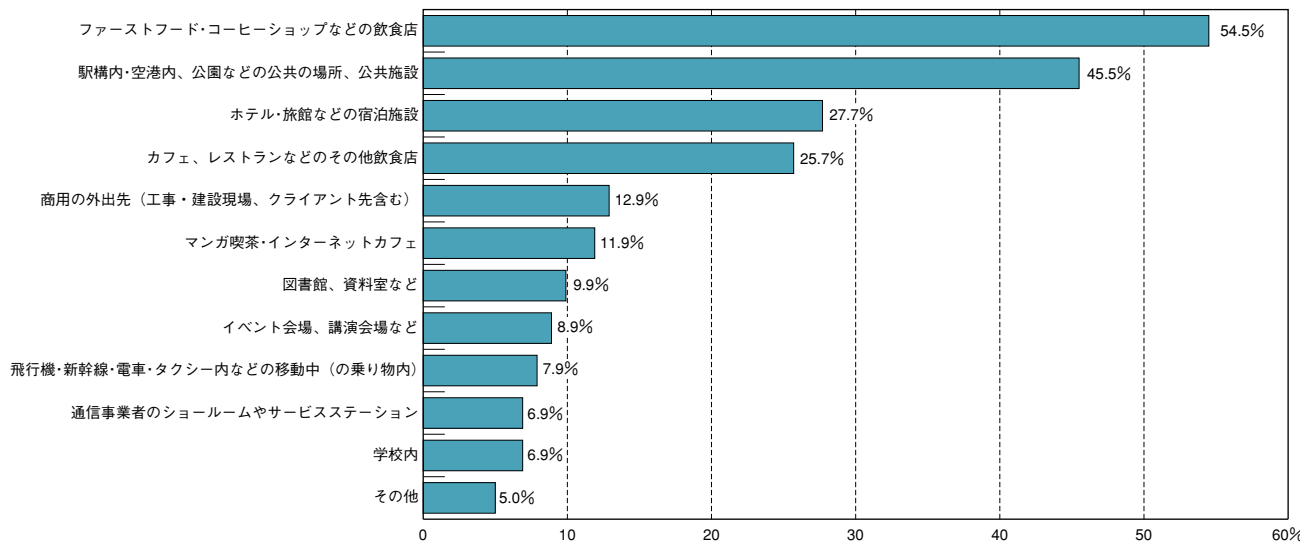
企業の利用実態

海外の普及状況

公衆無線LAN アクセスポイント

気兼ねなく使えるファーストフードが人気

資料2-3-14 利用したことのある公衆無線LANアクセスポイントの場所 N=101

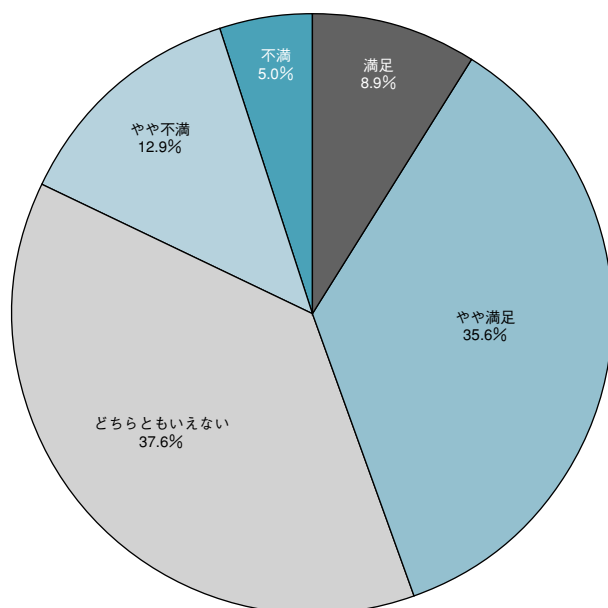


©Access Media/impress,2003

ファーストフード店やコーヒーショップのように、気軽に入れて長居できそうな店がトップ。駅や空港内、公園など頻繁に人が出入りする公共の場所も人気があるほか、ホテルやレストランなどでじっくり使うという人も多い。

速度は「満足」と「やや満足」で44.6%

資料2-3-15 公衆無線LANアクセスポイントの回線品質・スピードの満足度 N=101



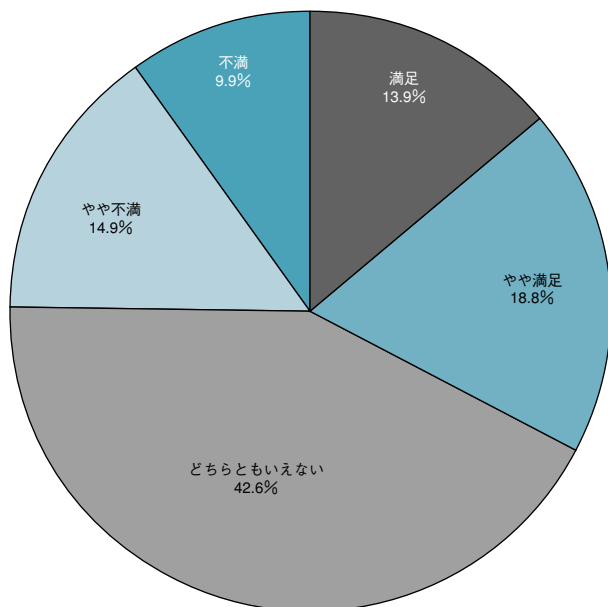
©Access Media/impress,2003

無線LANは数Mbpsの高速通信が前提になっていることもあって、「満足」あるいは「やや満足」と答えた人が半数近くもいる。ただ、多数の人の利用が集中すると通信速度が低下することもあって、「どちらともいえない」も3割を超えている。

**公衆無線LAN
アクセスポイント**

公衆無線LANアクセスポイントの料金は評価が分かれる

資料2-3-16 公衆無線LANアクセスポイントの料金の満足度

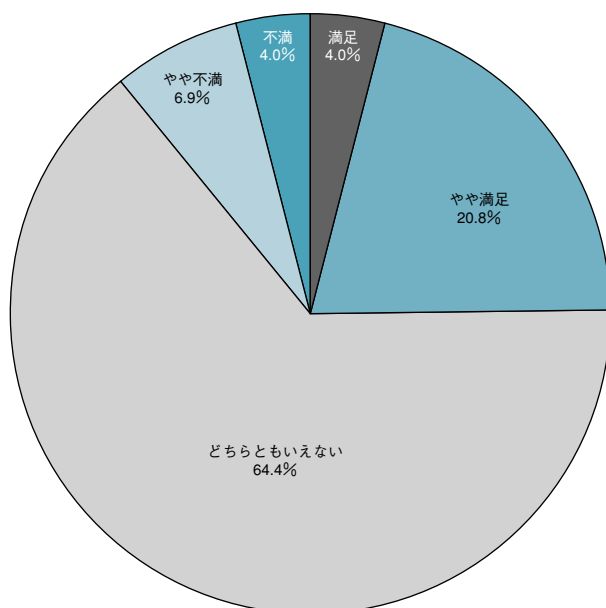


©Access Media/impress,2003

公衆無線LANアクセスポイントの多くは、無料あるいは低料金で利用できることもあって、「満足」と「やや満足」の合計は32.7%。携帯電話などを使ったモバイルインターネット環境に比べて料金への不満は少ないが、満足度が高いとはいえない。

カスタマーサポートへの不満は1割程度

資料2-3-17 公衆無線LANアクセスポイントのカスタマーサポートの満足度 N=101



©Access Media/impress,2003

公衆無線LANアクセスポイントのカスタマーサポートに不満を持つ人は、「不満」と「やや不満」を合わせてわずか10.9%。「満足」と「やや満足」が24.8%にのぼるなど一定の評価を受けているが、「どちらともいえない」も64.4%ある。

日本の普及状況

個人の利用実態

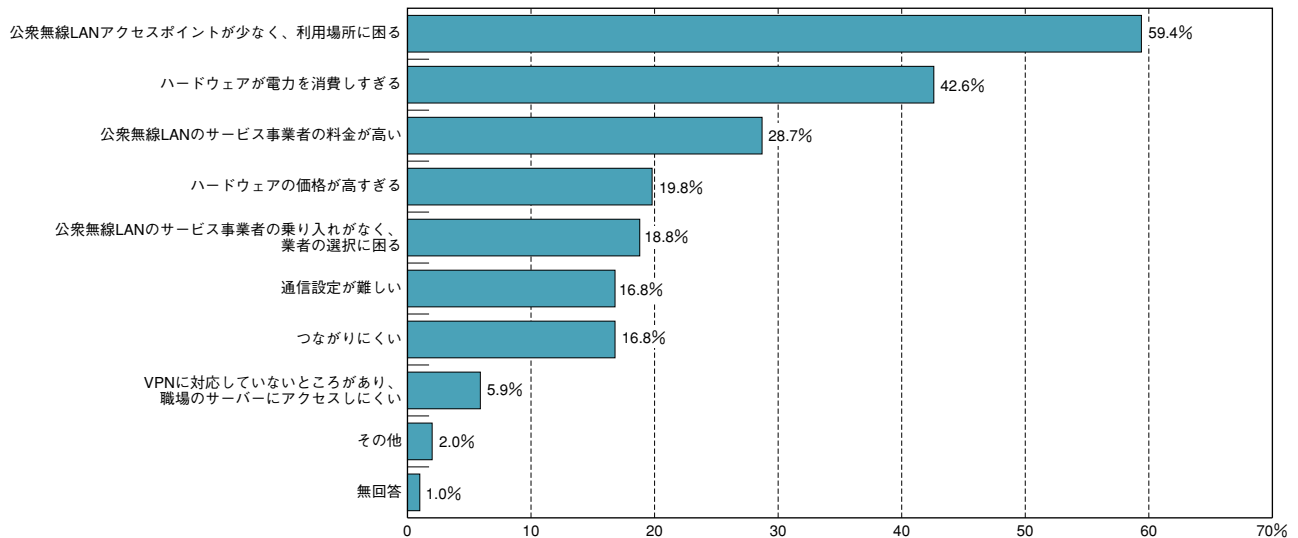
企業の利用実態

海外の普及状況

公衆無線LAN アクセスポイント

アクセスポイントの設置などインフラ整備に期待

資料2-3-18 公衆無線LANアクセスポイント利用上の問題点・課題 N=101

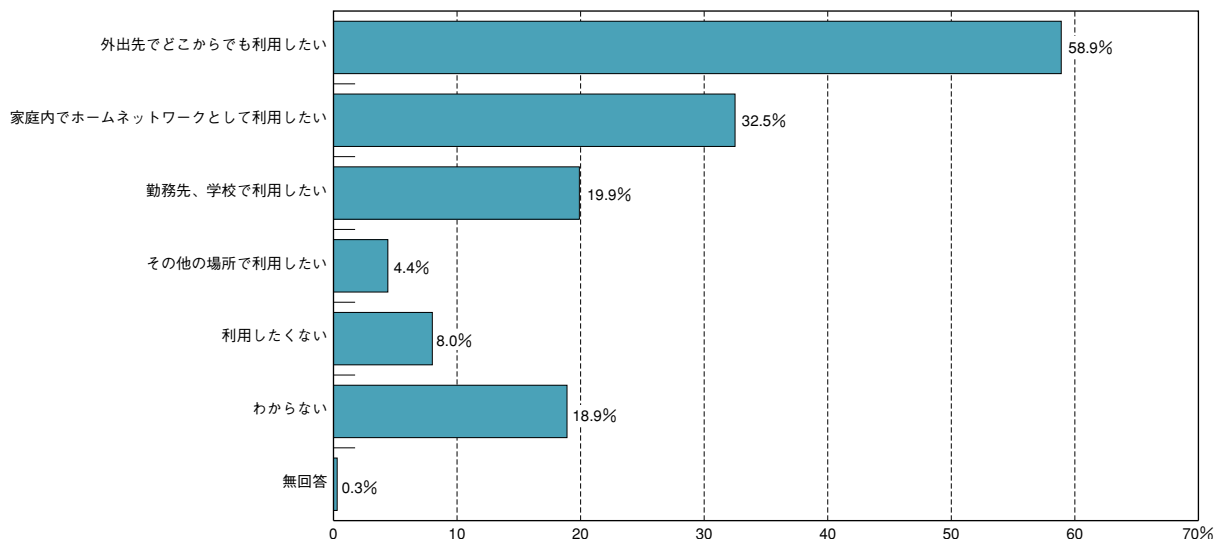


©Access Media/impress,2003

「公衆無線LANアクセスポイントの少なさ」を挙げた人が59.4%。「公衆無線LANの料金が高い」「業者の選択に困る」など、インフラ整備への不満が目立つ。「電力を消費しすぎる」といった技術的な課題の解決も急務といえる。

無線LAN環境利用の意向はモバイルに限らず高い

資料2-3-19 公衆無線LANアクセスポイント非利用者（モバイルインターネット利用者）の無線LAN利用意向 N=767



©Access Media/impress,2003

公衆無線LANアクセスポイントが増えれば、外出先でも家と同じようにインターネットを利用できる。非利用者には「外出先でどこでも利用したい」という要望のほかにも家庭や勤務先で手軽にLANを構築できることに魅力を感じている人が多い。

インターネット白書 / ©1996-2012 Impress R&D



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp